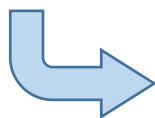


府域一水道に向けたあるべき姿の研究会（仮称）の設置について

◇H29.10.20 首長会議（田中八尾市長の発言要旨）

府域一水道に向けて、10 団体に続く水道事業の統合について促進を考えていくなら、更なる統合に向けて、研究・検討する場、研究会とか勉強会をお作りいただきたい。八尾市としても、「次に入る」ということを検討するには、色々な調査研究をしていかなければならないと思う。



研究・検討する場の設置

- ・ 10 団体の統合協議における課題等の情報共有
- ・ 市町村末端給水事業の将来のあるべき姿の策定
- ・ めざすべき府域一水道のベクトル合わせ

◇研究・検討の場の設置

【府域一水道に向けたあるべき姿の研究会】

①主旨

今後、府域一水道を強力に進めていくためには、大阪広域水道企業団と統合した 10 団体の取り組みを全体で共有化するとともに、府域一水道のイメージ、あるべき姿を具体化する必要がある。

②項目

- これまでの取り組みのノウハウを共有することが府域一水道に向けて欠かせない
 - ・ スケジュール、企業団との協議、市民・議会対応等
 - ・ 解決できた課題、暫定措置で対応した課題、今後の検討に委ねた課題
- 府域一水道に向けた具体的なイメージ、あるべき姿が必要
 - ・ 府域一水道に向けての課題抽出、課題整理
(水道料金、会計統合、危機管理体制、市町村事業の統一化・効率化など)
 - ・ 府域一水道後の収支シミュレーション、定性的・定量的メリットの抽出
 - ・ 府域一水道後の事業運営形態の具体化

③検討体制（構成例）

- 大阪広域水道企業団、4ブロック代表（摂津市、柏原市、和泉市、八尾市）運営協議会議長（堺市）、日本水道協会大阪府支部長（豊中市）、大阪府